

FFP解凍装置 FP-40

データ協力 福島県立医科大学附属病院 輸血・移植免疫部 (製剤保存温度: -30℃)

FFP-LRの解凍時間

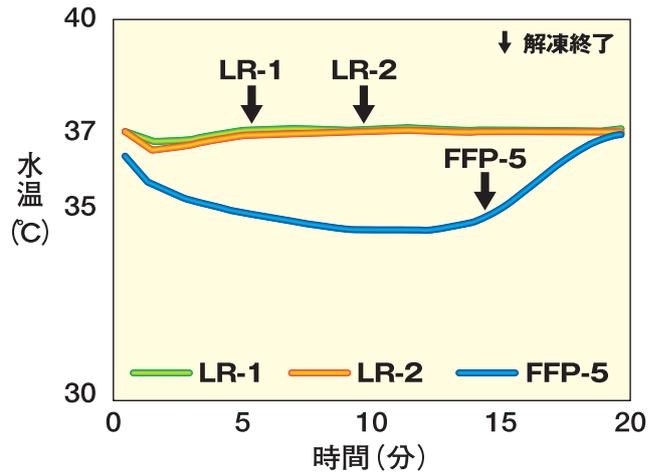
FP-40 解凍 <平均値(範囲)、N=5>

※推奨解凍方法・時間

| 図 | ※推奨解凍方法・時間 | | |
|-------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 袋 添付文書なし | 袋 添付文書あり | 袋なし |
| 条件 | | | |
| LR-1 | 8分 (7~9分) | 12分 (11~14分) | 8分 (7~9分) |
| LR-2 | 13分 (11~15分) | 17分 (15~20分) | 13分 (11~14分) |
| FFP-5 | 18分 | 26分 | 15分 |

解凍時の水温変化

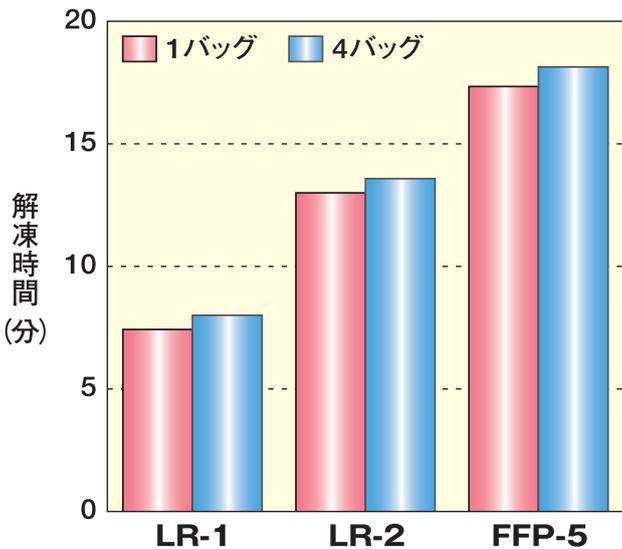
FP-40 解凍 4バッグ同時<平均値、N=5>



製剤血漿量 LR-1 (Min 100ml, Max 130ml) ; LR-2 (Min 200ml, Max 270 ml) ; FFP-5 (450ml)

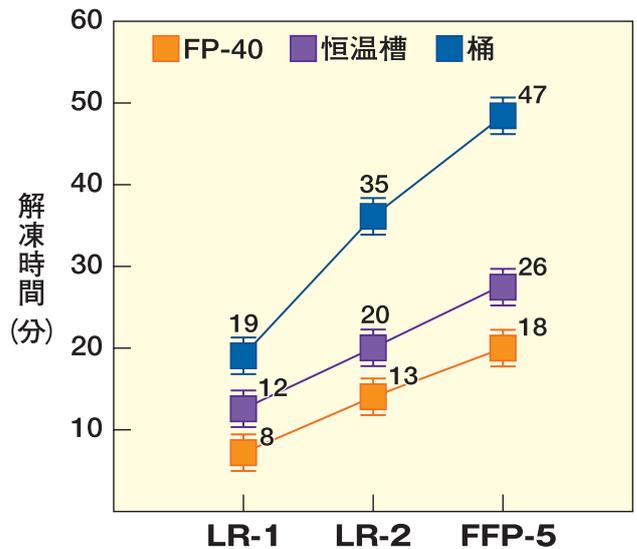
バッグ数による解凍時間比較

FP-40 解凍1バッグ vs 4バッグ<平均値、N=5>



FP-40 vs 恒温槽 vs 桶

1バッグ解凍時 <平均値、N=5>



条件:FP-40 (袋・添付文書なし・振盪有・水量18ℓ)、恒温槽 (袋2重・添付文書なし・沈め・水量18ℓ)、桶 (袋2重・添付文書なし・沈め・水量8ℓ・温度管理なし)

FFP解凍装置 FP-40

データ協力 福島県立医科大学附属病院 輸血・移植免疫部 (製剤保存温度: -30℃)

全面加温と振盪機能でスピード解凍

加温水槽方式と振盪機能により、FFP製剤を迅速に解凍出来ます。

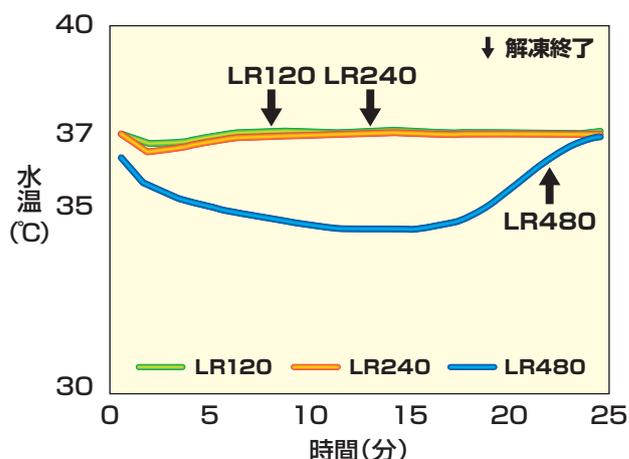
FFP-LRの解凍時間

| 図 | |
|-----------|---|
| |  |
| 条件 | 袋 添付文書なし |
| FFP-LR120 | 8分 (7~9分) |
| FFP-LR240 | 13分 (11~15分) |
| FFP-LR480 | 22分 (18~26分) |

適正温度で安全に解凍

水温を37℃に自動制御し、適正な温度(30~37℃)で解凍を行います。

FP-40 解凍 4バッグ同時 <平均値、N=5>



製剤血漿量 LR120 (Min 100ml, Max 130ml) ; LR240 (Min 200ml, Max 270ml) ; LR480 (480ml)

抜群の視認性

水槽部分が透明で解凍状態が見えます。



4バッグ同時解凍

1~4バッグを同時に解凍可能です。



新鮮凍結血漿 (FFP) の融解方法について

FFPは37℃を超える温度で融解した場合、凝固因子活性の低下を認め、さらに蛋白変性を起こすことがあります。また逆に融解温度が低いと沈殿(クリオプレシピテート)が析出することがあります。クリオプレシピテートは多量の凝固因子を含んでいることから、沈殿がある状態で使用しても凝固因子の補充効果は期待できない上、輸血セットの目詰まりの原因にもなります。

出典: 輸血情報1810-163